

令和5(2023)年度 木曾岬町立木曾岬小学校 第1学年 シラバス (4科/全6科)

教科目標	国語科		算数科		生活科		音楽科	
	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。 (1)日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2)日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3)言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。		数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。 (2)日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。 (3)数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。		具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。 (2)身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。 (3)身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。		表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2)音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようにする。 (3)音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。	
学年目標	【知識及び技能】 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合うとする態度を養う。		【知識及び技能】 数の概念とその表し方及び計算の意味を理解し、量、図形及び数量の関係についての理解の基礎となる経験を重ね、数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、加法及び減法の計算をしたり、形を構成したり、身の回りにある量の大きさを比べたり、簡単な絵や図などに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ものの数に着目し、具体物や図などを用いて数の数え方や計算の仕方を考える力、ものの形に着目して特徴を捉えたり、具体的な操作を通して形の構成について考えたりする力、身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の大きさの比べ方を考える力、データの個数に着目して身の回りの事象の特徴を捉える力などを養う。 【学びに向かう力・人間性等】 数量や図形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。		【知識及び技能】 学校、家庭及び地域の生活に関わることを通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考えることができ、それらのよさやすばらしさ、自分との関わりで捉え、地域に愛着をもち自然を大切にしたり、集団や社会の一員として安全で適切な行動をしたりできるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 身近な人々、社会及び自然とふれあったり関わったりすることを通して、それらを工夫したり楽しんだりすることができ、活動のよさや大切さに気づき、自分たちの遊びや生活をよりよくするようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 自分自身を見つめることを通して、自分の生活や成長、身近な人々の支えについて考えることができ、自分のよさや可能性に気づき、意欲と自信をもって生活できるようにする。		【知識及び技能】 曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 音楽表現を考えて表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	
	学期	月	学習内容	月	学習内容	月	学習内容	月
1	4	いいてんき おはなしたのしいな あつまってはなそう えんぴつとなかよし どうぞよろしく なんていおうかな こんなものみつけたよ うたにあわせてあいうえお こえにだしてよもう ききたいな、ともだちのはなし たのしいな、ことばあそび はなのみち としよかんへいこう かきとかぎ ぶんをつくろう ねことねこ わけをはなそう おばさんとおばあさん くちばし おもちやとおもちや あいうえおであそぼう おおきくなった 7 おおきなかぶ はをへをつかおう すきなもの、なかに おむすびころりん としよかんとなかよし こんなことがあったよ	4	○くらべたことがあるかな・おおいのほどちらかな 4-5 1. なかまづくりとかず<条件に応じて集合をとらえる> 5 2. なんばんめ<順序や位置を数で表す> 6 ○どのようにかわるかな ○しあげよう 3. あわせていくつふえるといくつ<加法の意味をとらえる> 6-7 4. のこりはいくつちがいはいくつ<減法の意味とらえる> 5. どちらがながい<長さの概念をとらえ測定する>	4-6	がっこうだいすき あいうえお いくぞ!がっこう たんけんたい <学校や通学路を探索する活動を通して、楽しく安心して学校生活を送ることができるようにする> 5-7 げんきに そだて わたしのはな <植物を育てる活動を通して、親しみをもって大切にすることができるようにする> 6 あそびばに てかけよう<遊び場で遊ぶ活動を通して、安全に気をつけて正しく利用できるようにする> 6-7 タブレットをつかってみよう <タブレットの操作に慣れ、写真を撮ったりカードを作成したりできるようにする> 7 なつと なかよし <身近な自然を観察したり、夏の遊びを楽しんだりする活動を通して、みんなと仲よく遊んだり、自分たちの生活を楽しくしたりすることができるようにする> 年間 えいごでたのしもう <英語の表現や発音に親しみ、ゲームを通して英語でのコミュニケーションを楽しむ>	4	1.うたって おどって なかよくなるろう<A表現(歌唱)、B鑑賞> 5 2.はくを かんじとろう<A表現(歌唱、器楽、音楽づくり)、B鑑賞> 6-7 3.はくに のって リズムを うとく<A表現(歌唱、器楽、音楽づくり)、B鑑賞> 7 4.みの まわりの おとに みみを すまそう<A表現(音楽づくり)> 5-7 5.どれみと なかよくなるろう<A表現(歌唱、器楽)、B鑑賞>
	9	いちねんせいのおた ききたいな、ともだちのはなし たのしいな、ことばあそび やくそく かたかなをみつけよう うみのかくれんぼ 10 かずとかんじ くじらぐも しらせたいな、見せたいな まちがいをおそう ことばをたのしもう かん字のはなし 11 じどう車くらべ じどう車ずかんをつくろう かたかなをかこう ともだちのこと、しらせよう むかしばなしをよもう/おかゆのおなべ 12 ものの名まえ わらしべちようじゃ 日づけとよう日 てがみてしらせよう	9	6. わかりやすくせいりしよう<絵や図を用いて数量を表現し読み取る> 7. 10よりおおきいかず<数構成に基づく加減計算をする> 8. なんじなんじはん<時計の目盛りと針の機能をとらえる> 10 9. 3つのかずのけいさん<簡単な3つの数の加減計算をする> 10. どちらがおおい<体積の概念をとらえる> 11 11. たしざん<繰り上がりのある1位数同士の加法計算をする> 12 12. かたちあそび<立体図形の基礎的概念をとらえる> 13. ひきざん<繰り下がりのある減法計算をする> ○どんないきさんになるのかな? ○けいさんびらみっど	9	げんきに そだて わたしのはな 生きもの 大すき <生きものと触れ合ったり世話をしたりする活動を通して、生き物を愛着をもって大切にすることができるようにする> 10-11 あきと なかよし <秋の校庭や遊び場などで散歩したり遊んだりする活動を通して、楽しむことができるようにする> 11-12 ひろがれ えがお <家庭生活について調べたり、自分の家庭生活を振り返ったりする活動を通して、規則正しく健康に気をつけて生活を送ることができるようにする> 9-12 タブレットをつかってみよう <ロイロノートの機能を使って、簡単な記録をしたり発表したりできるようにする>	9-12	5.どれみと なかよくなるろう<A表現(歌唱、器楽)、B鑑賞> 10 6.せんりつで よびかけあおう<A表現(歌唱、音楽づくり)、B鑑賞> 11 7.がっきと なかよくなるろう<A表現(歌唱、器楽)、B鑑賞> 12 8.ようすを おもいうかべよう<A表現(歌唱、器楽、音楽づくり)>
3	1	かたつむりのゆめ/はちみつゆめ ききたいな、ともだちのはなし たのしいな、ことばあそび たぬきの系車 かたかなのかたち ことばを見つけよう 2 どうぶつのおちゃん これは、なんでしょう ずうっと、ずっと、大すきだよ にているかん字 3 いいこといっぱい、一年生	1	14. おおきいかず<簡単な3位数を数え、加減計算をする> 2 15. どちらがひろい<面積の概念をとらえる> 16. なんじなんぶん<何時何分の読み方をとらえる> ○ピルをつくろう 17. たしざんとひきざん<異種の量について加減計算をする> 3 18. かたちづくり<基本的な平面図形の構成をとらえる> ○1ねんのふくしゅう	1	ふゆと なかよし <身近な自然を観察したり、冬の遊びを楽しんだりする活動を通して、自分の生活を楽しくすることができるようにする> 2-3 もう すぐ 2年生 <入学してからの1年間を振り返ったり、年長児との関わりを深めたりする活動を通して、進級する喜びやこれからの成長への願いをもって意欲的に生活することができるようにする>	1	9.にほんの うたを たのしもう<A表現(歌唱)、B鑑賞> 1-3 10.みんなで あわせて たのしもう<A表現(器楽・音楽づくり)、B鑑賞> 年間 ○みんなでたのしく<A表現>
	○音声、文字、語句、文や文章、言葉遣いなどの国語についての基礎的な事項の定着に向けて、ワークシートを活用し、小単元を大切に扱う。 ○ 学ぶ楽しさや学ぶことへの自信をつけていくために、ステップを踏んだ指導をしたり、絵や写真などの具体物を示したり、ことばのおもしろさに気付くようなゲームやクイズを取り入れたりする。		○ 算数の学習は楽しい、分かる、と実感できるように、ブロックや具体物を実際に操作したり、操作を通して考えたりできる場を多く設ける。 ○ 内容の理解と定着のために、単元ごとにプリントやドリルなどを用い、復習の時間を確保する。 ○ 自分の考えを書いたり発表したりする場、友達との考えのよさが発見できるような場を設ける。		○ 見る、聞く、触れる、作る、探す、育てる、遊ぶなどの直接働きかける学習活動を主体的に行うことができるよう、可能な範囲で地域の特徴を生かした活動を取り入れる。 ○ 活動の楽しさや気づき、言葉や絵(発見カード)、動作化などによって表現したり、全体の場で発表したりする。また、意欲と目的意識をもちながら活動するために、発表会などを設定する。		○ 音楽に合わせて楽しく歌ったり身体表現したりする活動を積み重ねながら、特にリズムに対する感覚を育てることに重点をおいて指導する。 ○ 個人差を認め、一人一人のよさを生かしながら、友だちとなかよく活動できる場を工夫していく。	
評価	○ 単元ごとのテスト、適宜行う小テスト(音読・漢字など)、プリントや宿題などの提出物、発言内容、日記、作文、感想文、学習のまとめなど具体物によって評価する。 ○ 学習の結果だけでなく、学習への取り組み方など学習の経過も評価する。		○ 学習内容が確実に身に付いているか、学習したことを活用しようとしているか、単元ごとのテストやプリント、ノート、発表などを基に評価する。 ○ 学習の結果だけでなく、学習への取り組み方など学習の経過も評価する。		○ 活動したことや気づきなどを書く「発見カード」、自分の活動を振り返り、次に取り組みたいことを考える「ふりかえりカード」、学習時に使用するワークシート、作品、発表、活動の様子、友だちとのかわり、などで評価する。 ○ 子ども達が活動している中で発言、つぶやき、表情、取り組み方、などに直接言葉をかけて評価する。		○ 題材ごとの技能面だけでなく、音楽を楽しみながら進んで活動できることを積極的に評価する。 ○ 歌、器楽演奏、リズム打ち、身体表現、音楽づくり、鑑賞ワークシートなどで評価する。	
	○ ひらがな、カタカナ、漢字の定着に向けて、復習プリントを家庭学習として行う。 ○ 音読(本読み)は学習の基本なので、音読カードを使って家庭でも練習し、進んで本読みができるようにする。 ○ 継続的な読書の時間を確保するため、図書室、学級文庫の本が活用できるようにする。読書時間を多く設ける。		○ 算数の学習内容を確実に定着させるために、家庭学習で計算練習を継続的に行う。		○ 可能な範囲で、ゲストティーチャーやボランティアの方に活動の援助を依頼する。 ○ 植物や生き物の世話、作品を作るための材料探し、入学してからの自分についてのインタビューや思い出の品・写真の用意など、家庭学習として取り組む。その際、家庭との連絡を密にし、支援の依頼をする。		○ 鍵盤ハーモニカなどの楽器は、反復練習によって、表現の技能がより高まる。人に聴いてもらうことで意欲を持たせることができるので、家庭でも練習し、聞いてもらう協力要請をする。	

令5 (2023) 年度 木曾岬町立木曾岬小学校 第1学年 シラバス (2科/全6科)

教科 目 標	図画工作科		体育科	
	表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。 (2)造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3)つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を想像しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。		体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。 (2)運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3)運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。	
学 年 目 標	【知識及び技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して気付くとともに、手や体全体の感覚などを働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて考え、楽しく発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする態度を養う。		【知識及び技能】 各種の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、基本的な動きを身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 各種の運動遊びの行い方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力・人間性等】 各種の運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、健康・安全に留意したりし、意欲的に運動をする態度を養う。	
	学 期	月	学習内容	月
1	4	すきな かたちや いろ なあに 〈いろいろなものの色や形を見て楽しむ〉 かきたいもの なあに 〈自分の好きなものをクレヨン・パスで描く〉	4	体ほぐしの運動遊び〈体操・リズムにのって動く遊び〉
	5	ちよきちよき かざり〈はさみで切っかざりをつくる〉	5	固定施設を使っの運動遊び〈大道具・タイヤ遊び・鉄棒遊びなど〉 鬼遊び〈ふえ鬼・こおり鬼・だんご鬼など〉
	6	すなや つちと なかよく〈砂や土を丸めたりして変化を楽しむ〉 ひもひも ねんど 〈粘土をひも状にして発想したものを表現する〉	6	走の運動遊び〈かけっこ・リレー遊び〉
	7	みてみて あのね〈クレヨン・パスを使って生活のできごとを絵に描く〉 おって たてたら 〈紙を折って立てた形を使って表現する〉	6-7	ボール運動〈キャッチボール、的当てゲームなど〉 水の中を移動する運動遊び もぐる浮く運動遊び
	7	べったん コロコロ 〈いろいろな材料の形を写して絵を描く〉	7	のぼり棒・雲梯をつかった運動遊び
	9	ごちそう パーティー はじめよう! 〈粘土でごちそうを作る〉 カラフル いろみず 〈いろいろな色水を作って楽しむ〉	9	多様な動きをつくる運動遊び〈運動会競技につながる運動〉 表現遊び〈運動会につながる表現運動〉
	9-10	いろいろな かたちのかみから 〈いろいろな形の紙をつかって絵に表す〉 ひらひら ゆれて 〈風に揺れるかざりをつくる〉	10	体ほぐしの運動遊び〈フープ等を用いた運動遊び等〉 鉄棒を使った運動遊び〈ぶら下がり、跳び上がり、易しい回転〉
2	11	おはなしから うまれたよ 〈物語の好きな場面を絵にあらわす〉 かざって なにに いれよう 〈かざり方を工夫して箱をかざす〉	10-11	マットを使った運動遊び〈背中や腹をつけて転がる、体を反らすなど〉
	12	でこぼこ はっけん! 〈周りにあるでこぼこを粘土に写し取る〉 はこで つくったよ 〈テープで箱をつないですきなものをつくる〉	11	跳の運動遊び〈ケンパー跳び遊び・ゴム跳び遊び・縄跳びなど〉
	12	のって みたいないきたいな 〈自分の乗っみたいものを絵に描く〉	11-12	持久走
	12		12	ボール投げゲーム
3	1	ならべてならべて 〈身近なものを工夫してならべる〉 かみざら コロコロ 〈転がる仕組みを使っつくる〉	1	走・跳の運動遊び〈なわとび〉 持久走
	2	すきまちゃんの すきな すきま 〈お気に入りのすきまに合うすきまちゃんをつくる〉 いっしょに おさんぽ 〈粘土で散歩に行きたい仲間をつくる〉	2	跳び箱を使った運動遊び〈跳び乗り、跳び下り、馬跳びなど〉
	3	によきにき とびだせ 〈息を吹きこむと膨らむ仕組みを使っつくる〉 うつした かたちから 〈写した形や色から想像して絵に表す〉	2-3	ボール蹴りゲーム
授 業	○ 想像を膨らませ、思いを広げながら表現し、いろいろな造形活動を楽しむことができる工夫をする。 ○ 材料や表現方法など選択の場を多く設定し、自分の思いに合った表現ができるようにする。 ○ 自分や友達作品を楽しく見たり、作品で楽しく遊んだりしながら、お互いに表したかったことやよいところについて認め合い、次への意欲へつなげるような場を持つ。		○ 誰とでも仲良く、楽しく運動遊びをするために約束や決まりを理解し、場所や施設、用具、状況を見極めながら安全に気をつけて行動できるようにする。また、一人一人の実態に応じたためあてを持たせ、いろいろな運動遊びに楽しく挑戦させ、意欲・体力・技能を伸ばすようにする。 ○ ボールゲームでは、みんなが楽しくできるようなルールや動きを工夫して考えるような場面を設ける。	
評 価	○ 活動の様子(活動・関わり等)の観察、自己評価や相互評価(振り返りカード・鑑賞カード等)の記録、作品(思いや意図・形や色の工夫・材料の生かし方等)などにより、多角的に評価する。		○ 順番やきまりを守って、楽しみなから運動に取り組むことを重視する。 ○ ゲームではルールを守り、勝ち負けを素直に認めチームの仲間と励ましあって参加することを大切にす。 ○ 技能の評価だけでなく、自分で高まろうと努力や工夫する過程を観察し評価していく。	
家 庭	○ 必要な材料(廃材、画材等)の準備を、家庭に願います。 ○ 形や色の美しさ、表し方の工夫などに関心をもって見ることができるよう、家庭で親しみのある美術作品に触れる機会があれば願います。		○ 日常的にしっかりと外で体を動かして遊ぶように声かけを行う。 ○ なわとびなど継続して体力づくりをする。	

評価に関する考え方

学習評価について

令和2年度からは、学習評価の観点(連絡表の項目)が、すべての教科において、次の3つの観点到統一されました。3つの観点を評価を行うとともに、3つの力を育てます!

①知識・技能

学習活動を通して、知識・技能を身に付けている状況を評価します。また、それだけでなく、身に付けた知識・技能をこれまでに習った知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活に活かせるくらいに理解したり身に付けたりしているかどうかを評価します。

【育てる力】

一つ一つの知識や技能を身に付けながら、すでに持っている知識や経験・技能と組み合わせることで、身に付けた知識や技能をより定着させて、社会生活で使えるものにします。

②思考・判断・表現

知識や技能を活用して、課題を解決する等するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

【育てる力】

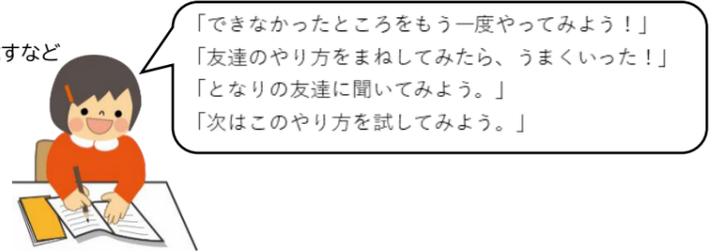
- ・問題を見だし、自ら方法を考え、結果を予測しながらすすめ、解決していく力を身に付けます。
- ・あらゆる情報から自分の考えをつくり、文章や発話で表現したり、多様な考えを理解したりして、集団としての考えをつくり出していく力を身に付けます。

③主体的に学習に取り組む態度

自分の学習状況をつかみ、学習の進め方について粘り強く何度も試すなどして、自分の学習を調整しながら学ぼうとしているかを評価します。

【育てる力】

学習の目標を持ち、進め方を見直しながら新たな学習につなげながら、粘り強く知識・技能を身に付けたり、思考・判断・表現をしようとする力を身に付けます。



観点ごとの評価方法

観点ごとの評価は、あらゆる学習活動の場面で、様々な方法によって、子どもたちの学習状況を捉えるものです。観点別に主な評価方法を示します。

【知識・技能】

- ペーパーテスト・実技テスト
- ・一つ一つの知識を身に付けたかを問う問題や、すでに持っている知識や経験・技能との関連性を問う問題 等
- 知識や技能を用いる多様な方法
- ・知識や技能を用いて文章で説明したり、観察・実験をしたり、式やグラフで表すことができているか 等

【思考・判断・表現】

- ペーパーテスト
- ・知識や技能を活用して考え、文章や式を使って説明したり、判断した理由を問う問題 等
- 論述やレポートの作成、発表
- ・知識や技能を活用して考え、文章や式、グラフを使って分かりやすく表現しているか
- グループや学級における話し合い
- ・自分の考えを友達に正確に伝えているか
- ・友達の考えや意見をよく聞き、自分の考えに活かしているか
- ・意見を出し合い、よさを認め合ったり、考えをまとめたりしているか
- 作品の制作や表現
- ・知識や技能がどのように活用されているか

【主体的に学習に取り組む態度】

- ノートやレポート等における記述
- ・課題を見だし、解決に向けて、思考・判断・表現することに粘り強く取り組んでいるか
- ・課題に対してまとめや振り返りを主体的に書き、新たな学習につなげているか
- 授業中の発言や教師による行動観察
- ・自分なりの学びの工夫や、友達からの学び、次に活かしたいこと等が表れているか